

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jp.org/>

令和四年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒一名増加
日堯上人五ヶ年報恩御奉公寺内・境内修復御有志奉納成就
人と未来を繋げる御奉公推進之御願
積極的御法門聴聞・励まし声かけ助行御利益感得口唱実践

令和四年 夏期参詣実施	
七月十日～廿三日	第一座 六時～八時
第二座 九時半～十時半	
第三座 九時半～十時半	

五月、六月の二ヶ月は、清流寺独自での「清流寺祈願助行」を実施しておりました
が、今回は、四月同様に、何ヶ寺かを結んでのゴリカン
奮つて参加されることをお勧めいたします。

七月の御總講日

一日 十時	御修行日
七日 十時半	バースデー總講
十三日 九時半	高祖御命日
廿五日 十時	門祖御命日

7月24日
10時30分

佛立開導日扇聖人御正當会

奉修導師

神戸・香風寺御高職

局日遙導師

十二日 九時半

於清流寺

門祖御遠夜

門祖御命日



同歸亭要語録

人助けが生き甲斐

たとへば種子と、苗と、草と、稻とは、かはれども、心はたがはず釈迦仏と法華経の文字とはかはれども、心は一つなり

(四条金吾殿御返事)

種を田に蒔けば、芽が出て、その芽が苗となり、その苗に稻の花が咲き、実を結んで米

となるので種も苗も稻も米を切り離して考えることは出来ません。種というものがなければ苗も稻も一切出来ずまた

いたかいがあるわけです。釈尊の通りということが云えます。

と法華経との関係も正しく此の通りということが無

ければ法華経というもののあろう筈はなく、若し法華経を説かずに終られたならば、釈尊の此の娑婆世界に出られたことが無意義ということになります。

釈尊が一切衆生に救護を与える為に此の世に御出現になつたということは多くの經論等に説かれていますが、法

乗との別があるけれども、小乗は大乗を説くための前提に過ぎないのでお経文にも

「常ニ大乗ノ為ニ而モ因縁ヲ為ス」

と説かれてあります。人の性質というものはそれぞれ皆異なっているけれども、生まれ乍ら仮性を具えているとい

う点においては同一といふことが出来ます。

「性欲無量義経には無量ナリ。説法無量ナルガ故二説法二義モ亦無量ナリ。無量義ハ一法ヨリ生ズ」

と説かれてあります。その一法というのは、すべての人を皆仏にしてやり度いという

釈尊の心のことであり、その行為の修行を説いてあるのが法

生れて来たるかひはあらじなと、御教歌下されてあります。ですが、人助けこそが御法を持つわれわれの今生人界の思出、即ち「生き甲斐」でもありますので、仏様の御本位である

花経であるということが出来るのです。

五月、六月の二ヶ月は、清流寺独自での「清流寺祈願助行」を実施しておりました
が、今回は、四月同様に、何ヶ寺かを結んでのゴリカン
奮つて参加されることをお勧めいたします。

「衆生ヲ安穏ナラシメンガ故ニ世ニ現ジテ、大衆ノ為ニ

甘露ノ淨法ヲ説ク。其ノ法一